



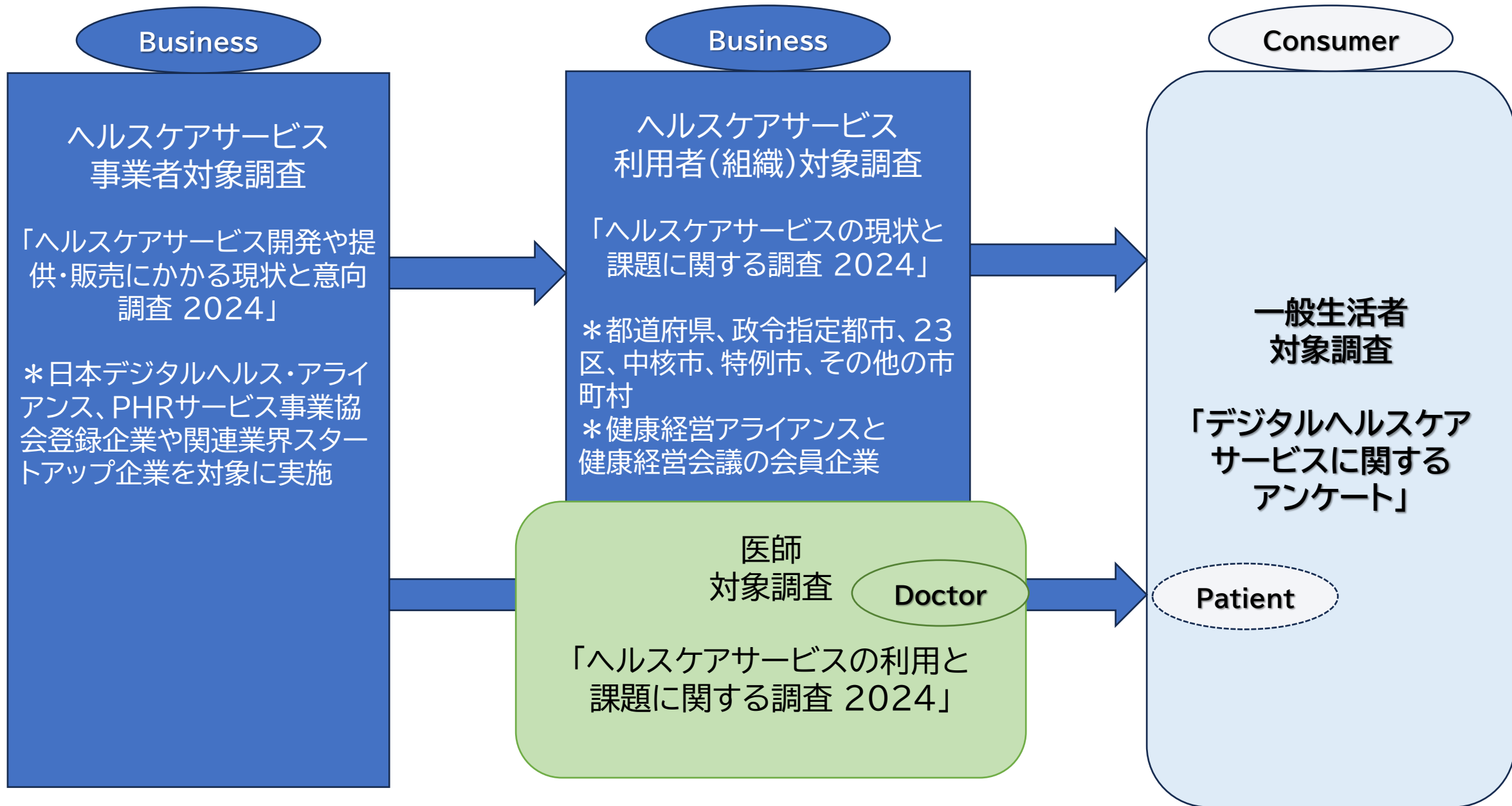
令和6年度 ヘルスケアサービス社会実装支援事業

生活者対象調査 結果

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
日経BP 総合研究所

2025年3月25日

調査概要/サマリー



調査概要

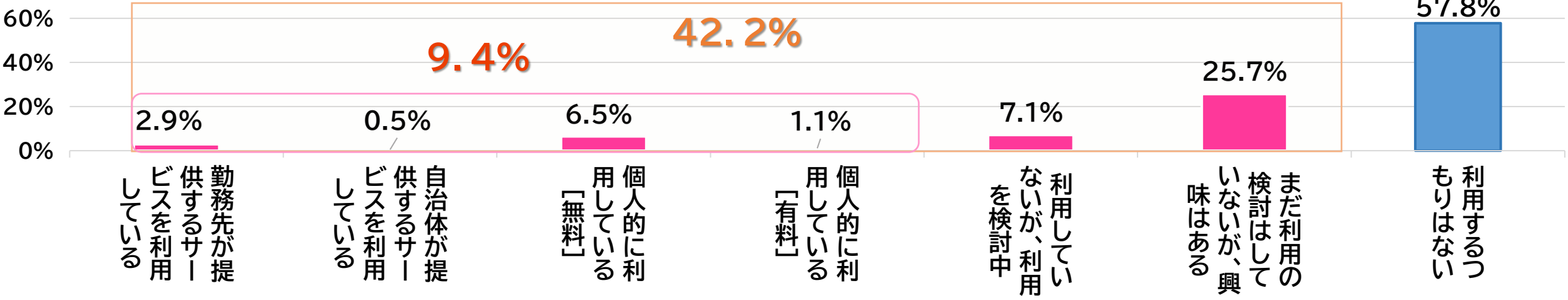
	医師調査	生活者調査	(参考)自治体 健康経営企業 調査
調査タイトル	ヘルスケアサービスの利用と課題に関する調査2024	デジタルヘルスケアサービスに関するアンケート	ヘルスケアサービスの現状と課題に関する調査 2024
調査対象	現役医師(日経メディカルオンライン登録医師)	ネット調査会社のパネル	982自治体(都道府県、政令指定都市、23区、中核市、特例市、その他の市町村) 健康経営企業(健康経営アライアンスと健康経営会議のメルマガをとおして約2600法人に協力を依頼)
調査手法	Web調査	Web調査	自治体:郵送告知(回答は郵送またはWebで回収) 健康経営企業:Web調査
実査期間	2025年1月8日~9日	2025年1月6日~7日	2024年12月~2025年1月
有効票	2573件	2000件 ※20代~60代(年代別で5層) ×性別(2層) 各セル200件	自治体 303件 健康経営企業 203件
調査主体	AMED 日経BP 総合研究所 共同実施	AMED 日経BP 総合研究所 共同実施	AMED 経済産業省

調査結果サマリー 【生活者/自治体・企業●デジタルヘルスケアサービス活用の現状】

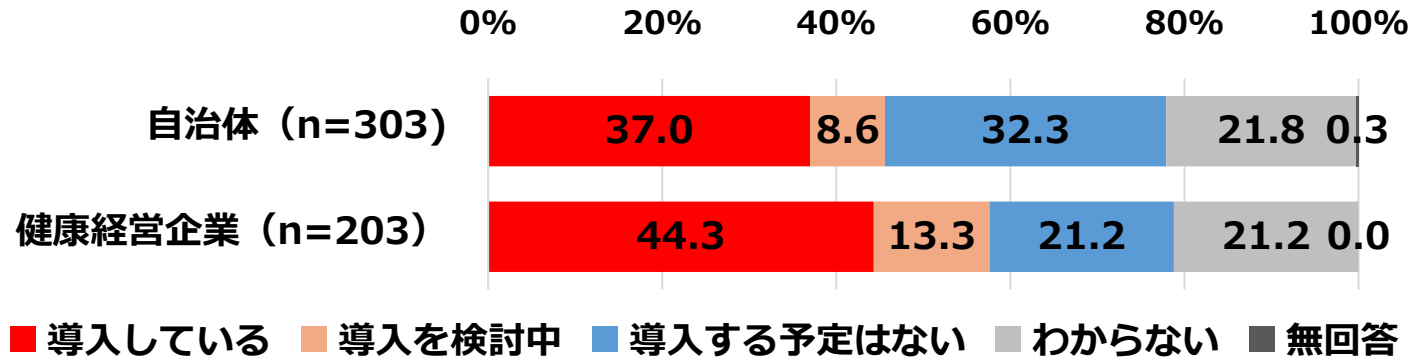
- 今後、生活者自ら利用する場合は、健康意識が高くデジタルデバイスと親和性が高いアーリーアダプターから展開するとみる
- 住民や従業員の健康維持・増進に積極的な自治体・企業が先行してサービスを導入。市場立ち上げに寄与

【デジタル技術(IT)を活用した予防・健康づくりのためのヘルスケアサービス利用状況(複数回答)】

n=2000(生活者)



【(参考/自治体・健康経営企業調査) デジタル技術(IT)を活用した予防・健康づくりのためのヘルスケアサービス導入状況】

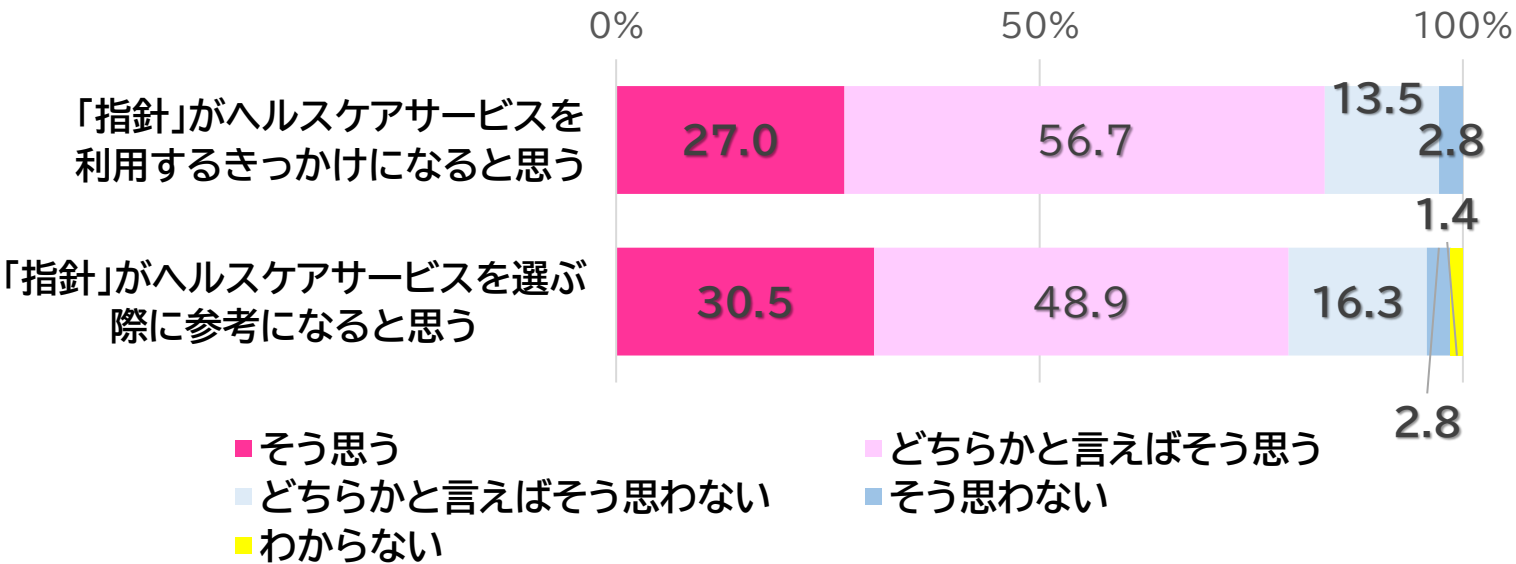


調査結果サマリー 【生活者/医師●「指針」の役割】

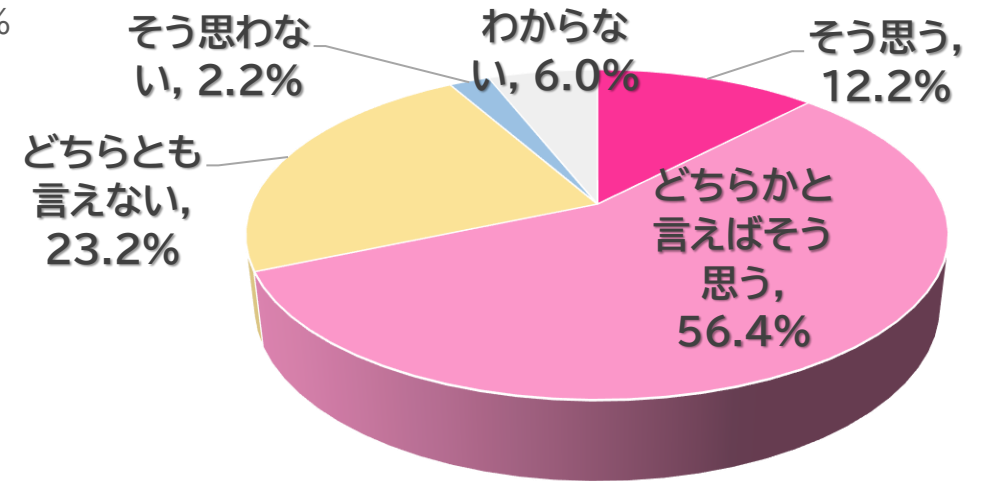
- ヘルスケアサービス利用を検討中の生活者の8割前後が、「指針」がヘルスケアサービスを利用するきっかけになる、ヘルスケアサービスを選ぶ際に参考になると考える
- 健康記録データの利用意向を持つ医師のうち7割弱は、「指針」に基づいて開発されたデジタルヘルスケアサービスが登場することで、診療や治療の補助として活用する可能性が高まるとみる
- 「指針」に基づいて開発されたサービスが医師に評価され、患者に推薦にするという連鎖が生まれれば、市場成長のチャンスが訪れることになるだろう。医師はヘルスケアサービス社会実装において重要な役割を担う

【医学会が作成した「指針」の役割】

n=141(利用検討中の生活者)



【(参考/医師調査)医学会が作成した「指針」に基づいて開発されたデジタルヘルスケアサービスであれば、診察や治療の補助として活用する可能性が高まるか】

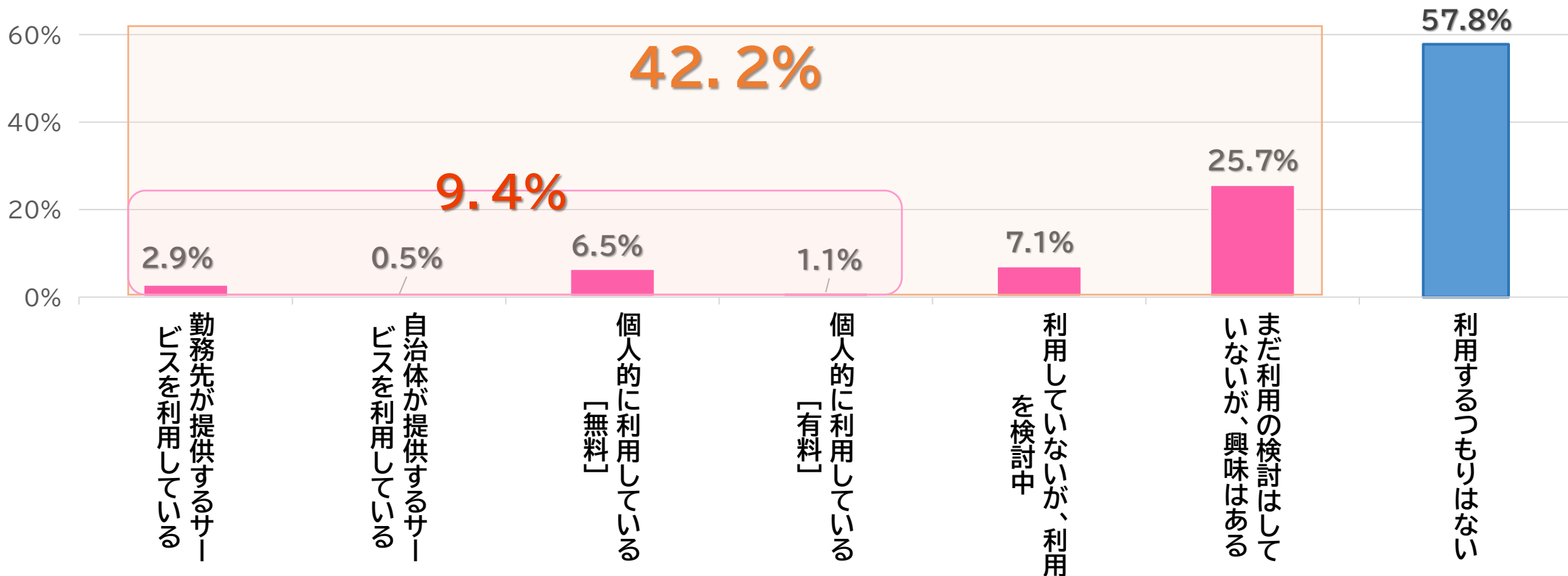


患者が電子媒体を用いて収集した健康記録データの利用経験・利用意向がある医師(n=2077)

調査結果

- 調査時点でデジタルヘルスケアサービスを利用している回答者は1割を切る
- デジタルヘルスケアサービスの利用意向・可能性がある層は、現利用者を含めて約4割

【デジタル技術(IT)を活用した予防・健康づくりのためのヘルスケアサービス利用状況（複数回答）】



生活者全体(n=2000)

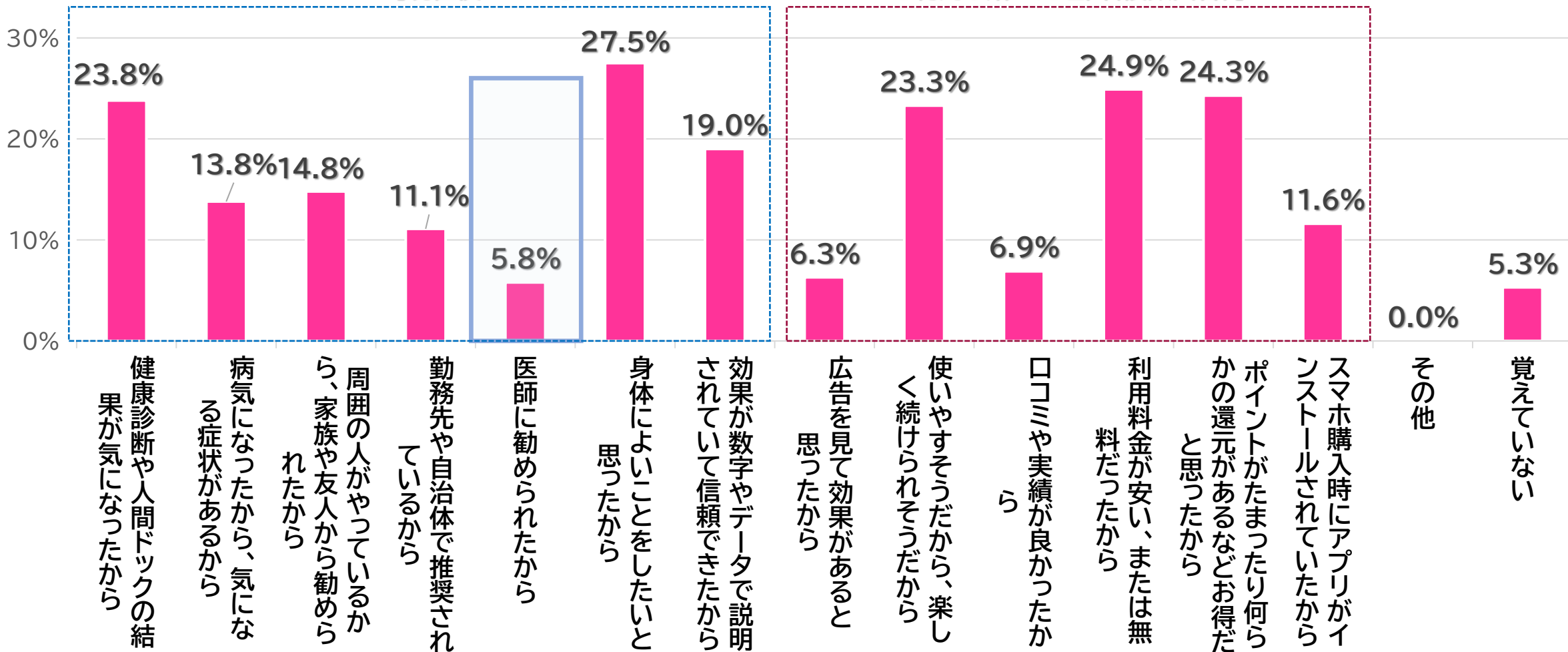
注:「利用するつもりはない」「まだ利用の検討はしていないが、興味はある」「利用していないが、利用を検討中」の3つの選択肢は排他選択肢(他の選択肢と重複して選択ができない)

出所:AMED・日経BP 総合研究所「デジタルヘルスケアサービスに関するアンケート」(2025年1月実施)

生活者●使っているデジタルヘルスケアサービスを利用し始めた理由

●デジタルヘルスケアサービス利用者にサービスを選んだ理由を聞いた結果、身体に関連する理由としては「身体によいことをしたいと思ったから」(27.5%)、「健康診断や人間ドックの結果が気になったから」(23.8%)が2割を超えた。健康に関する意識が高い層が先行して利用している。一方、「医師に勧められたから」は5.8%と1割に満たない

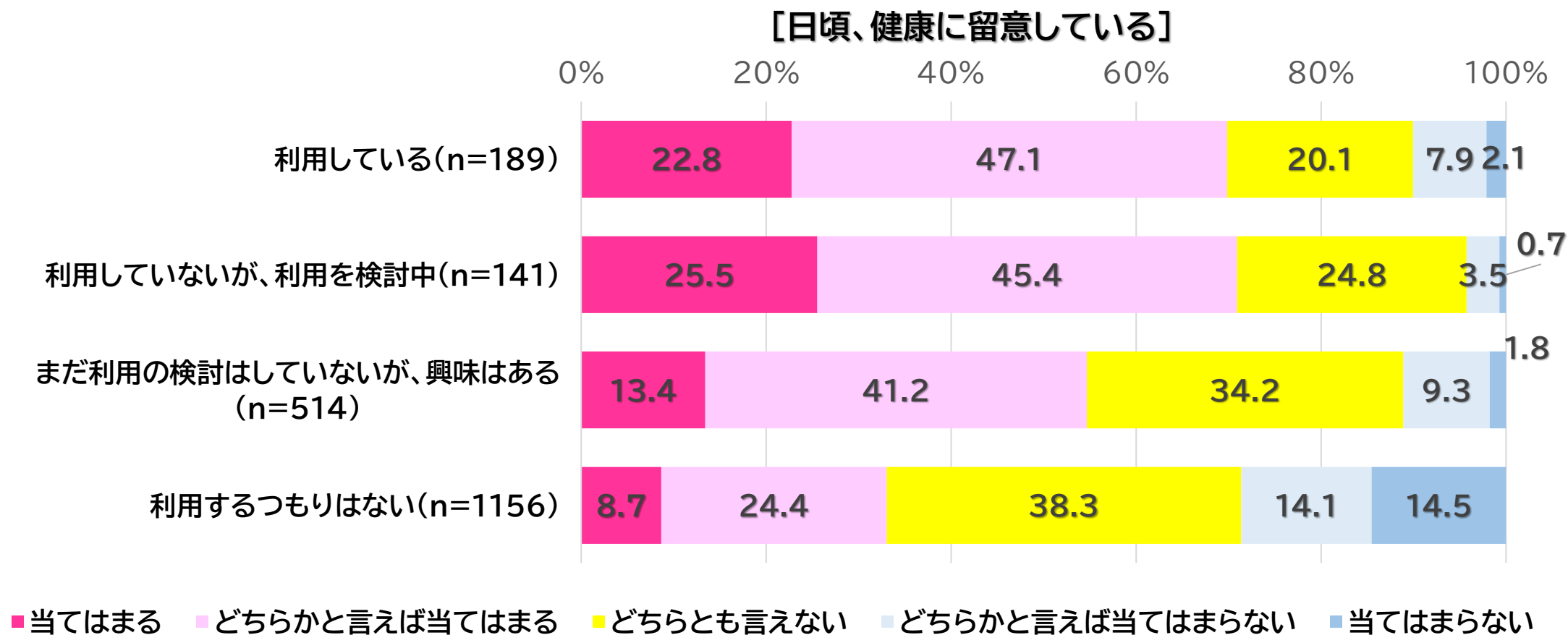
【現在使っているデジタルヘルスケアサービスを利用し始めた理由(複数回答)】



出所:AMED・日経BP 総合研究所「デジタルヘルスケアサービスに関するアンケート」(2025年1月実施)

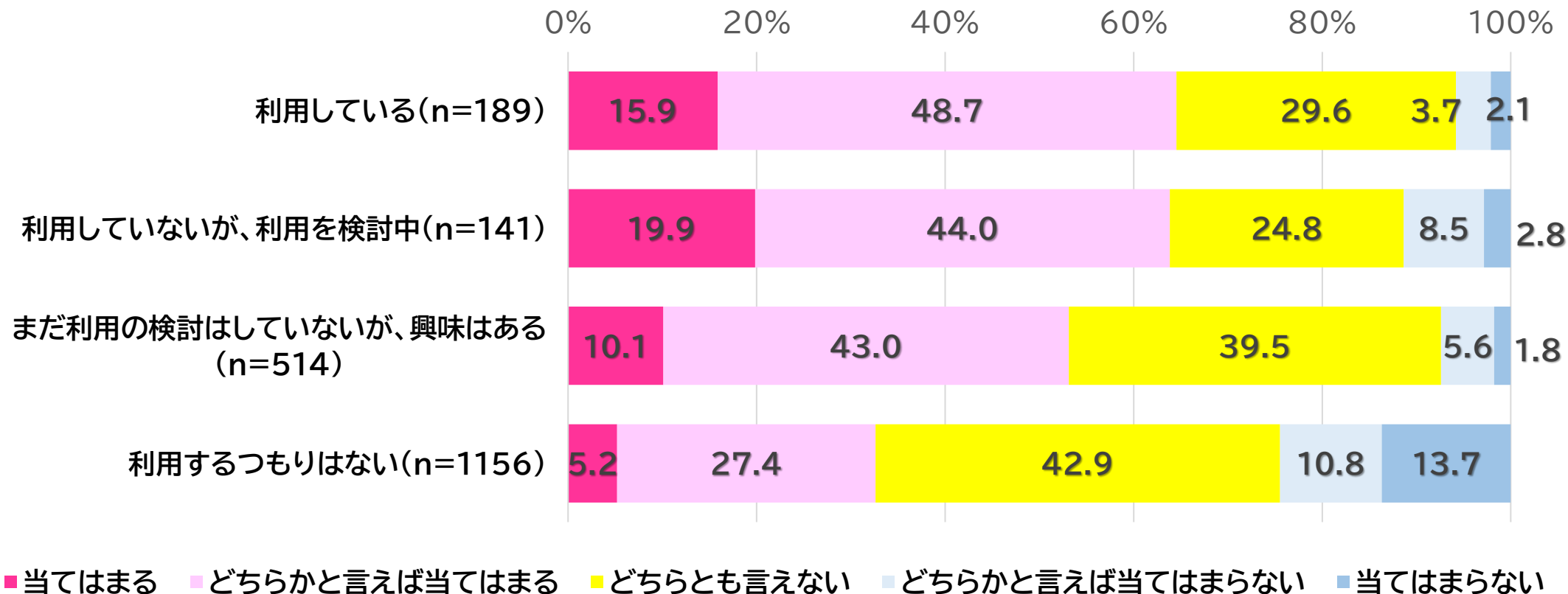
n=189(デジタルヘルスケアサービスユーザ)

●健康状態についての意識が高く、医師を信頼している生活者(患者)からヘルスケアサービスの活用が進む



出所:AMED・日経BP 総合研究所「デジタルヘルスケアサービスに関するアンケート」(2025年1月実施)

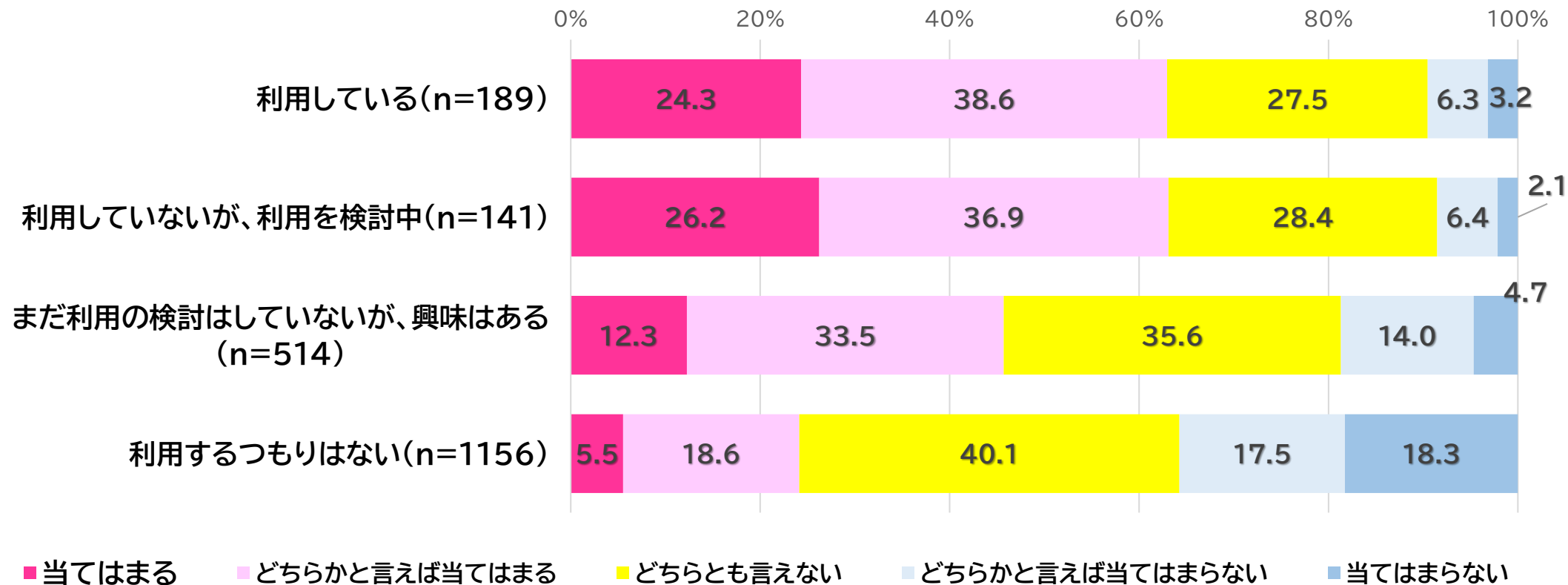
[病院や医師を信頼している]



出所:AMED・日経BP 総合研究所「デジタルヘルスケアサービスに関するアンケート」(2025年1月実施)

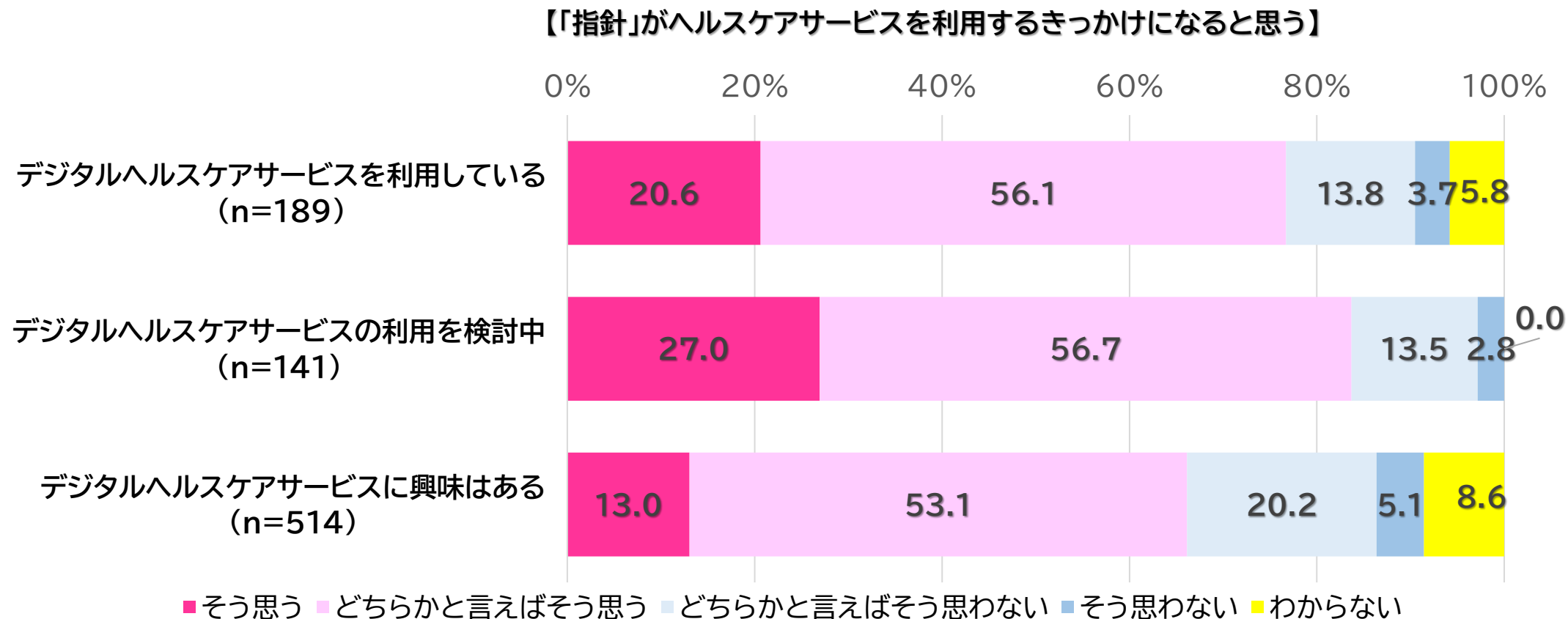
●デジタルデバイス利用のリテラシーが高い生活者は利用意向が高い

[コンピュータやデジタル機器の利用に慣れている]



出所:AMED・日経BP 総合研究所「デジタルヘルスケアサービスに関するアンケート」(2025年1月実施)

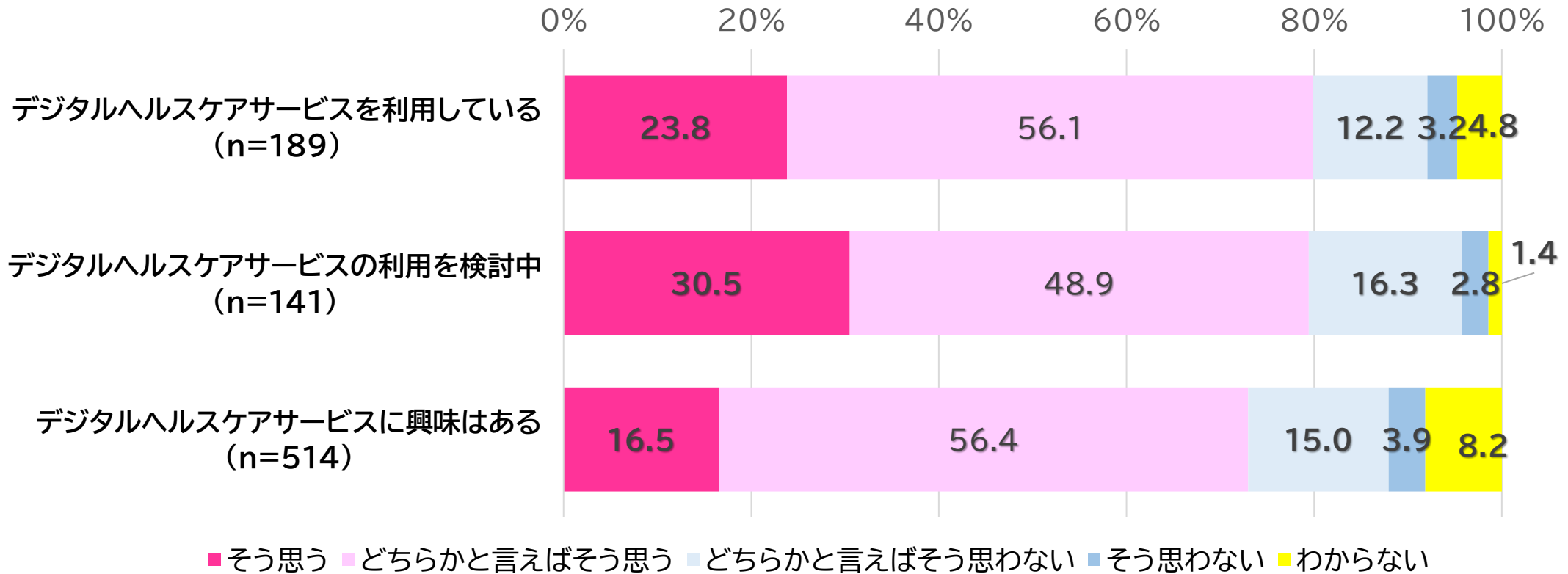
●デジタルヘルスケアサービスを利用している、あるいは利用に関心がある生活者は、「指針」がヘルスケアサービスを利用するきっかけになると考えている



出所:AMED・日経BP 総合研究所「デジタルヘルスケアサービスに関するアンケート」(2025年1月実施)

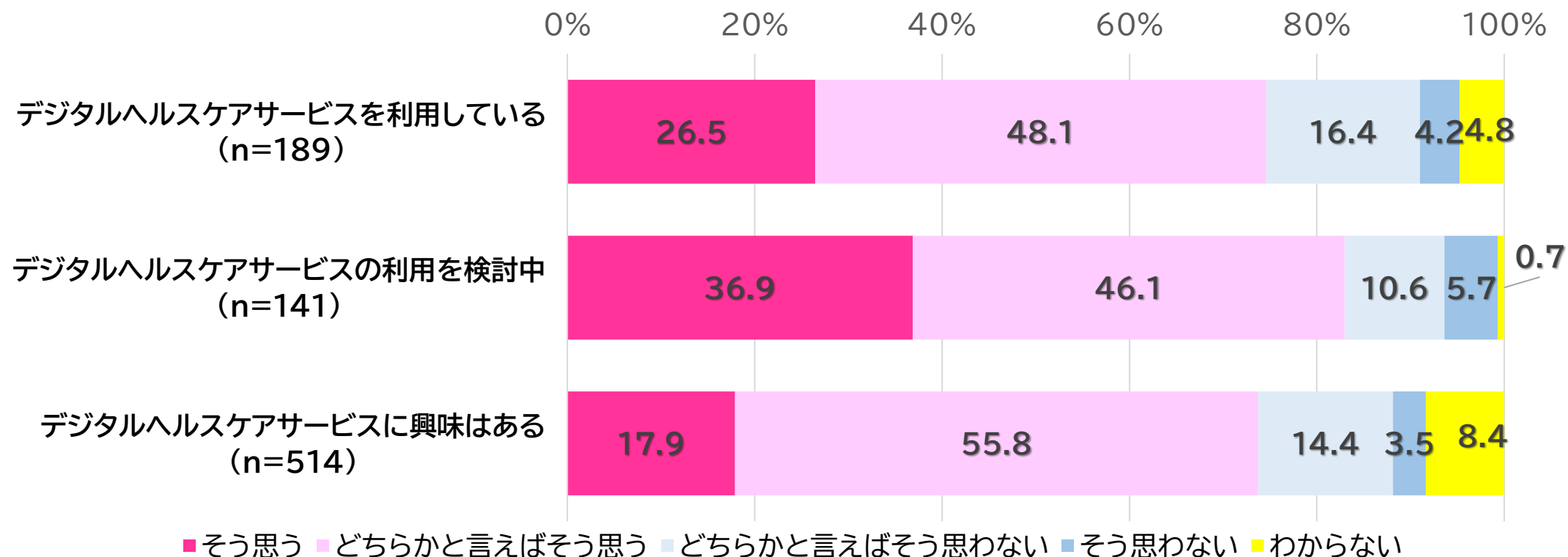
●デジタルヘルスケアサービスを利用している、あるいは利用に関心がある生活者は、「指針」がヘルスケアサービスを選ぶ際の参考になると考えている

【「指針」がヘルスケアサービス選ぶ際に参考になると思う】



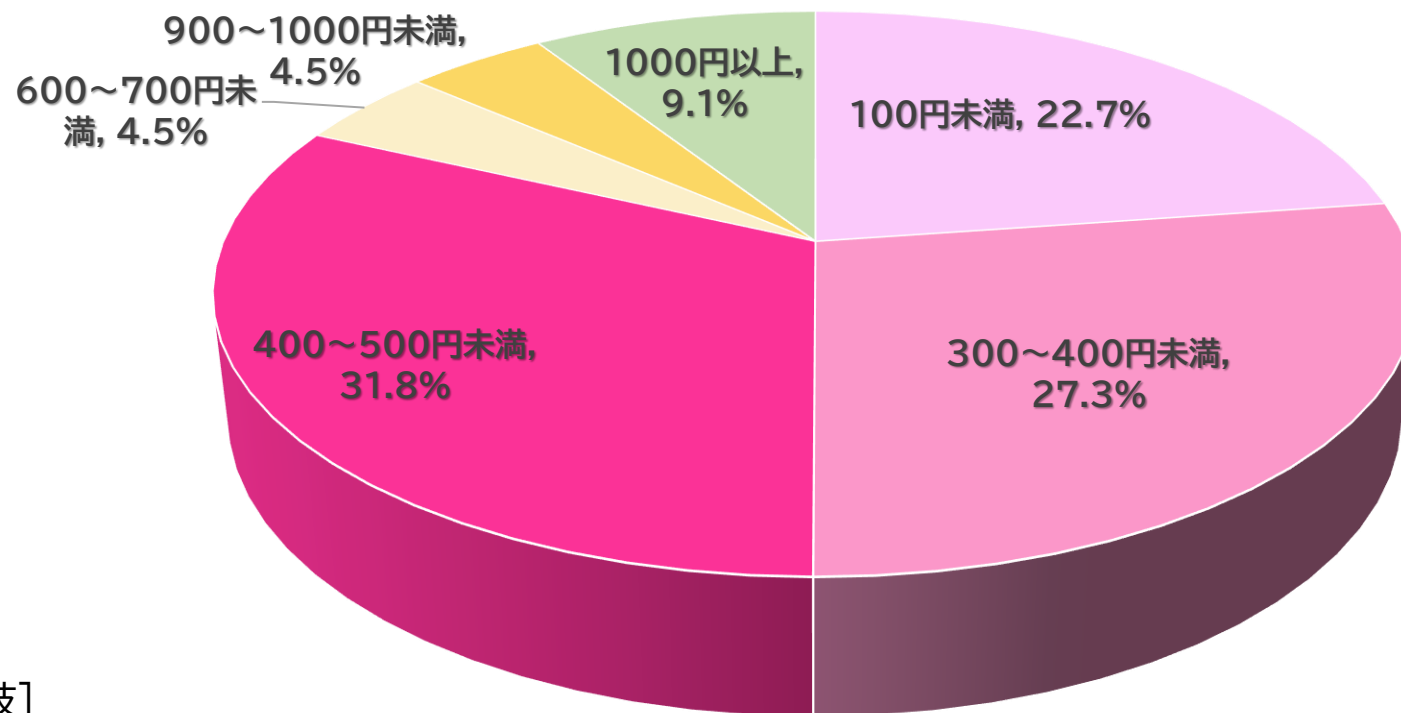
●デジタルヘルスケアサービスの利用を検討中の生活者が最も「指針」に関心を寄せている

【「指針」がどのようなものか知りたい】



その他の結果

【利用している有料のデジタルヘルスケアサービスの利用料金(1カ月分)】



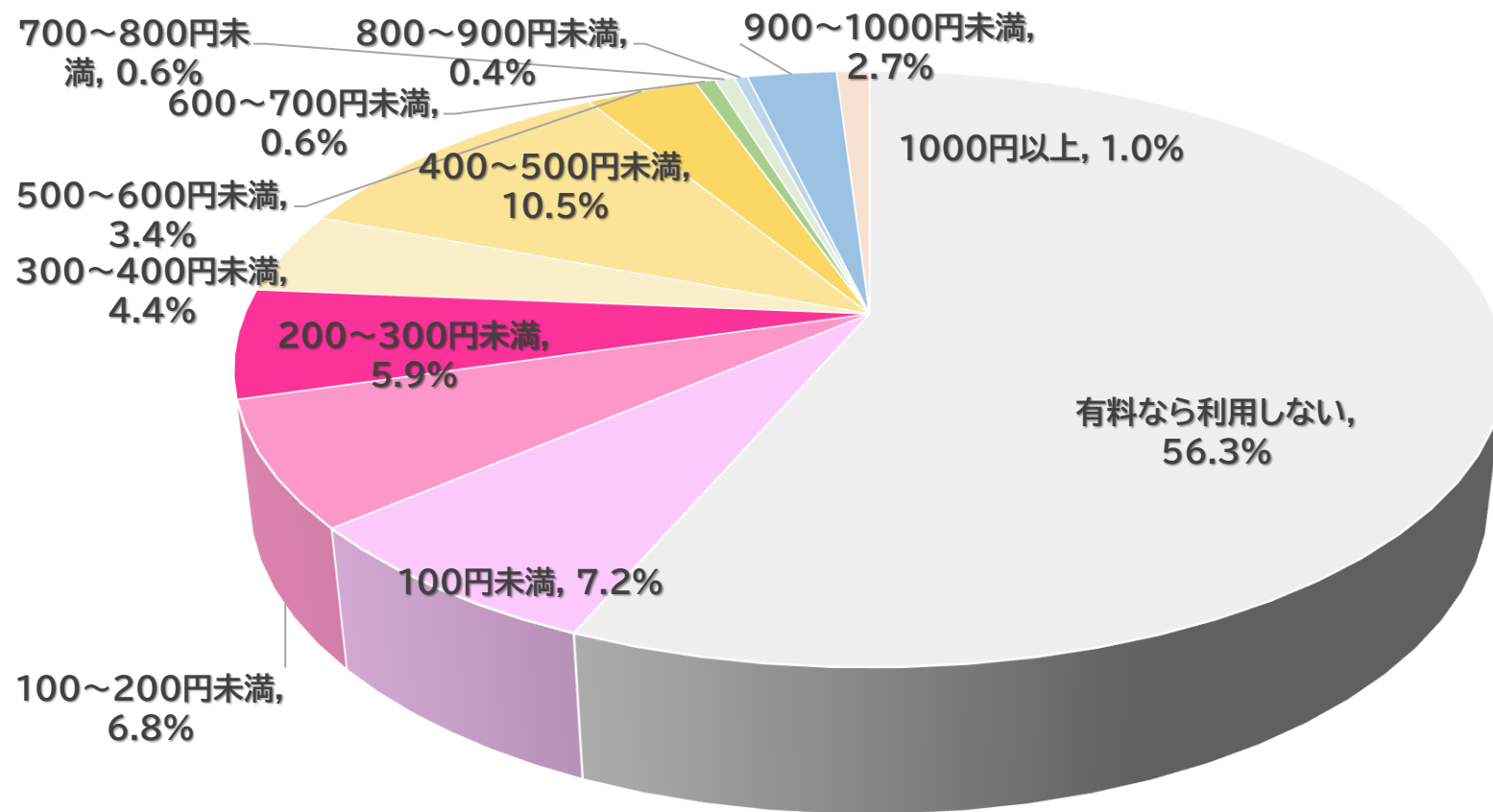
【選択肢】

- 100円未満
- 100～200円未満
- 200～300円未満
- 300～400円未満
- 400～500円未満
- 500～600円未満
- 600～700円未満
- 700～800円未満
- 800～900円未満
- 900～1000円未満
- 1000円以上

有料サービスユーザ(n=22)

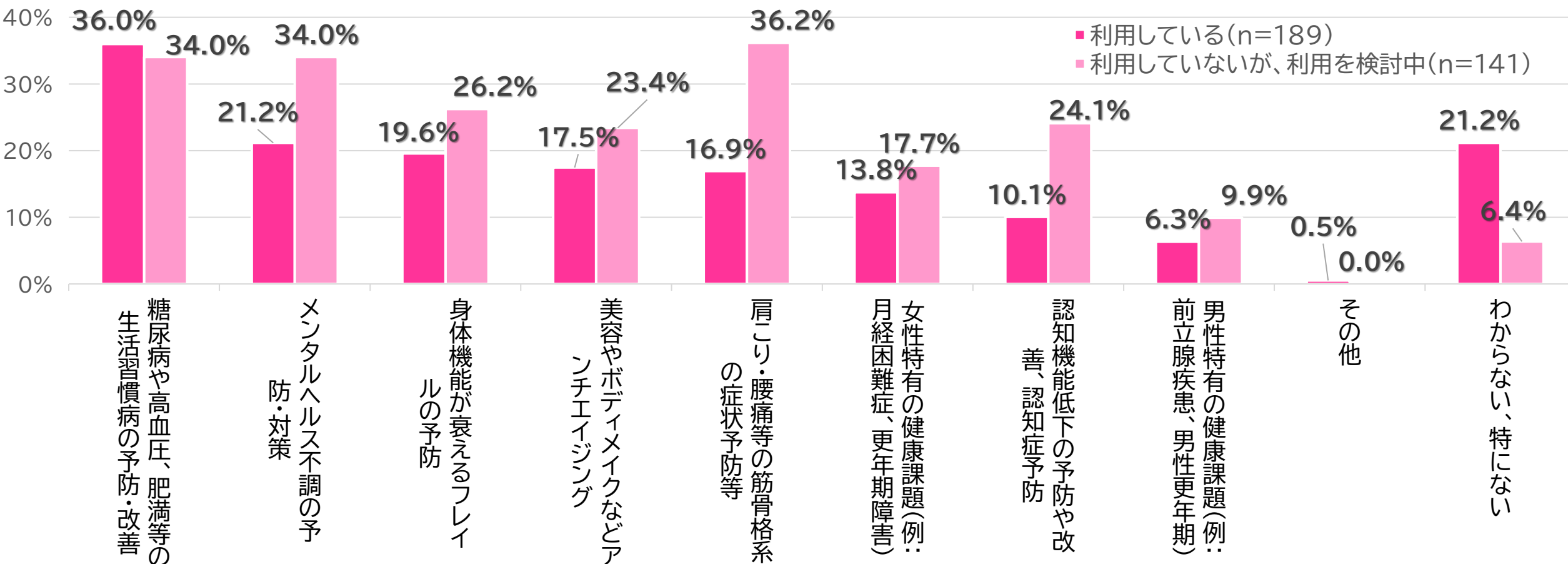
生活者●デジタルヘルスケアサービスの利用料金(いくらまでなら払ってよいと思うか)

【健康管理や健康増進に効果があるサービスであれば有料でも利用するか/利用する場合は月額いくらまで払ってもよいか】

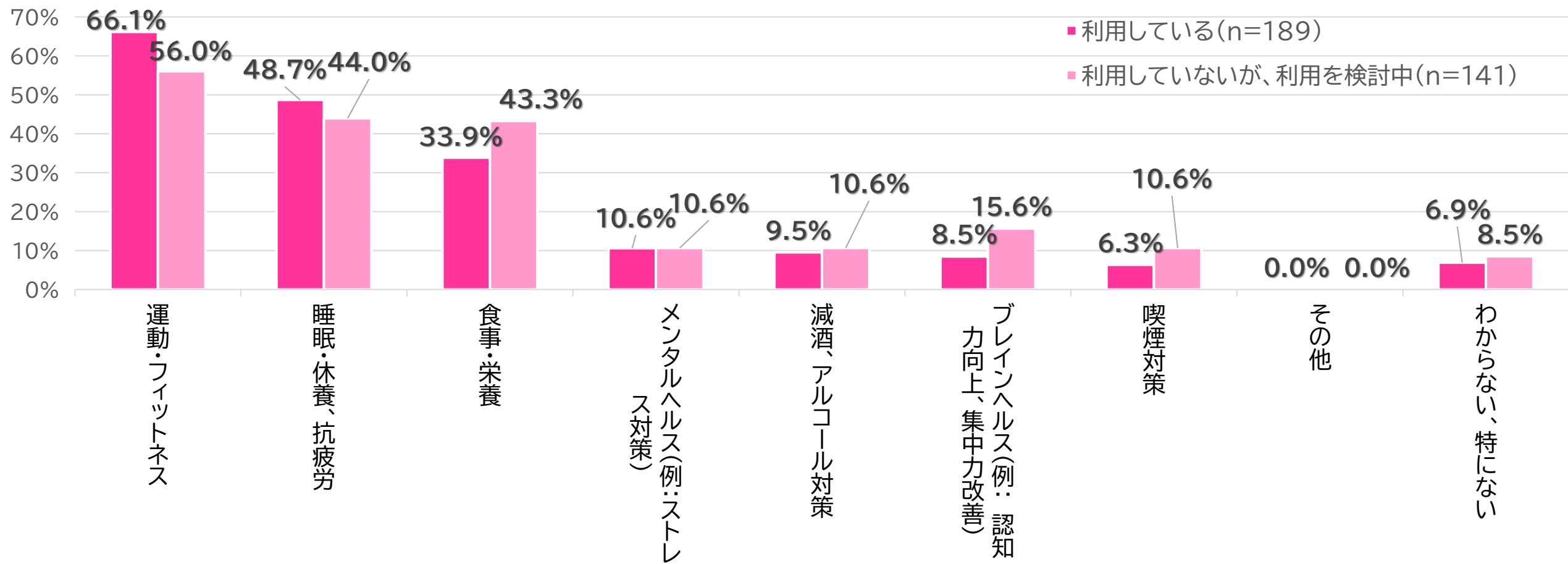


無料ユーザーまたは利用意向者+関心層、有料ユーザー除く(n=774)

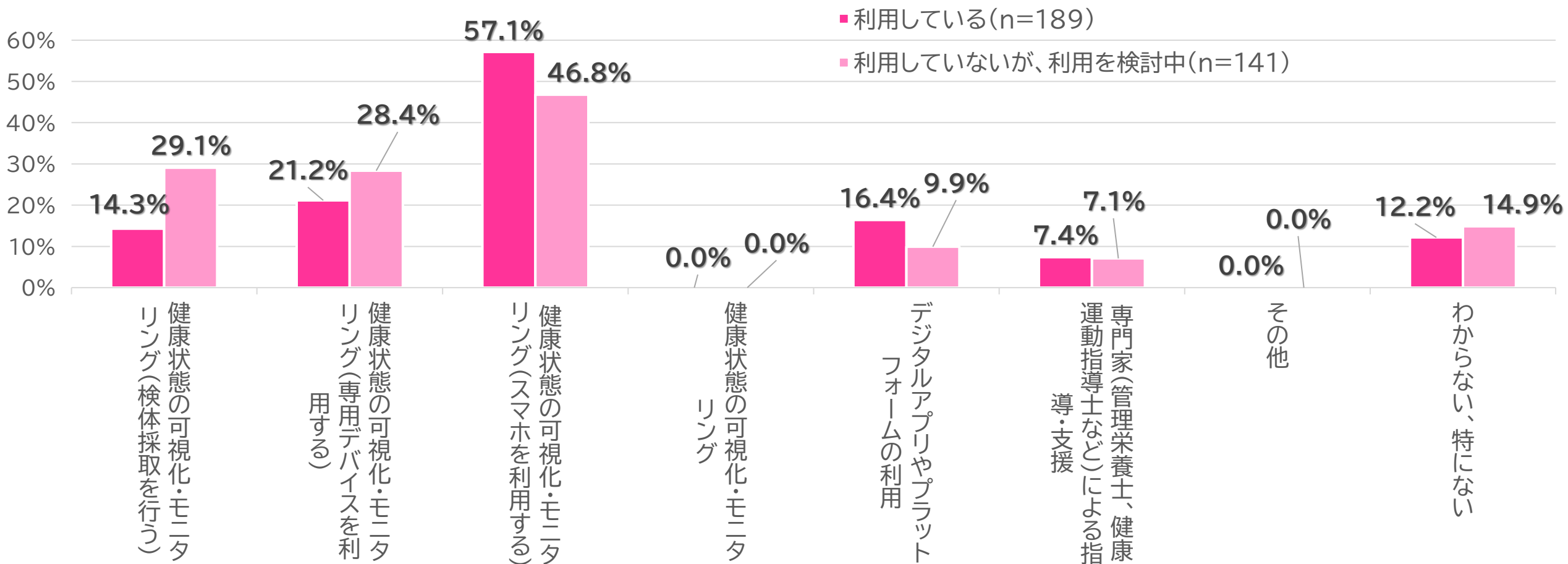
【利用している/利用を検討中のデジタルヘルスケアサービスの「健康課題領域」(複数回答)】



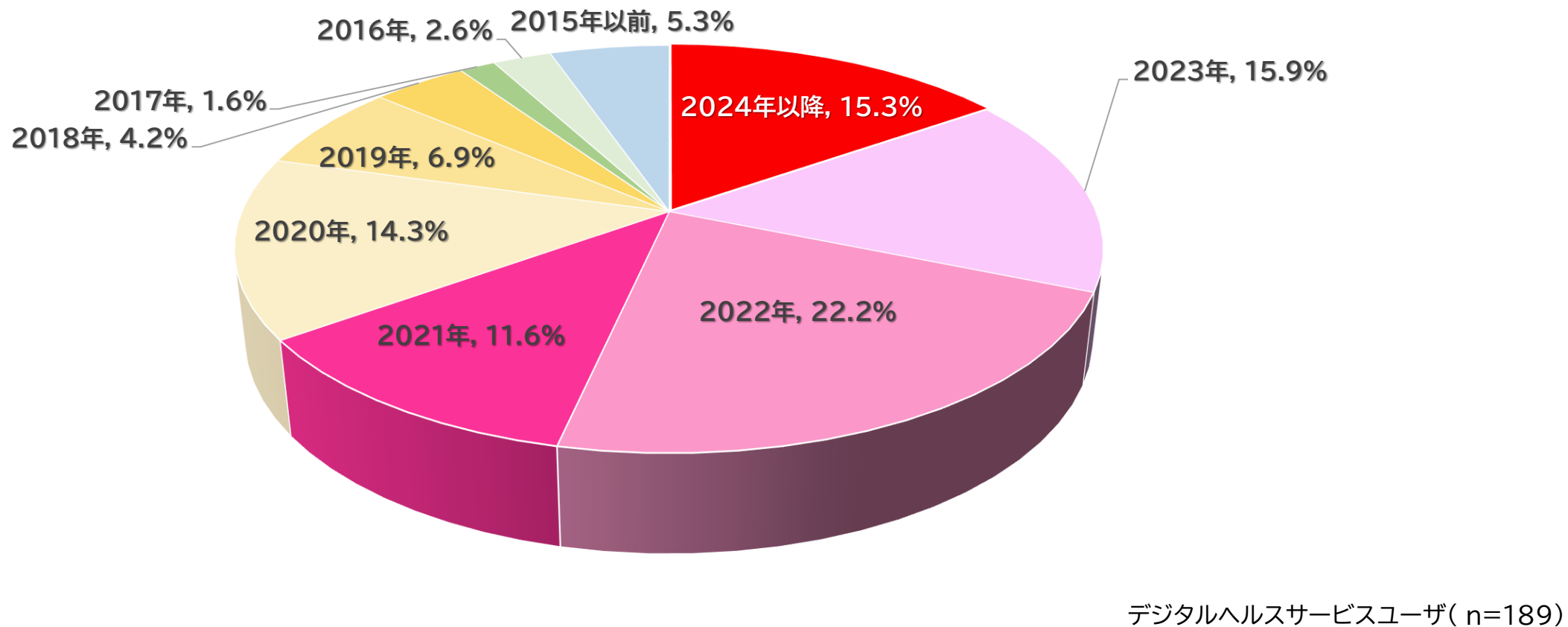
【利用している/利用を検討中のデジタルヘルスケアサービスの「健康維持・改善の分野」(複数回答)】



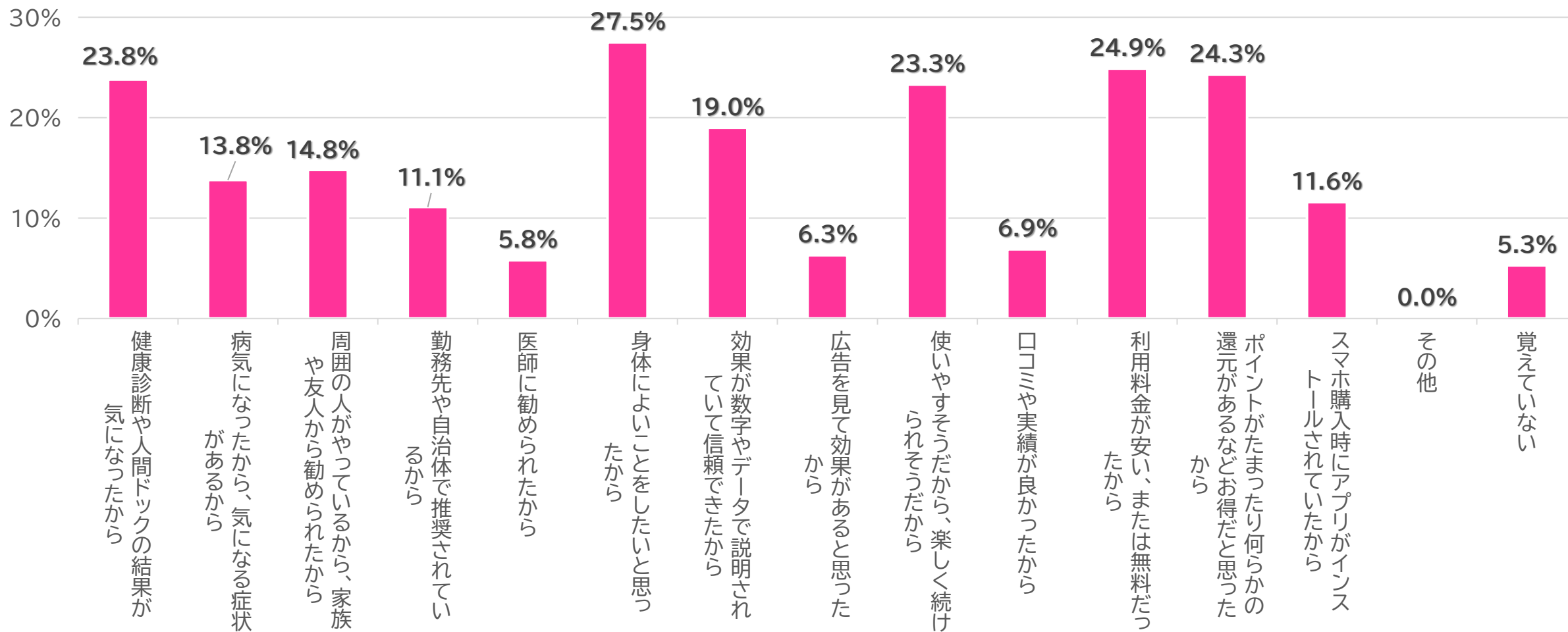
【利用している/利用を検討中のデジタルヘルスケアサービスの「利用方法」(複数回答)】



【利用しているデジタルヘルスケアサービスを何年くらいから利用しているか】

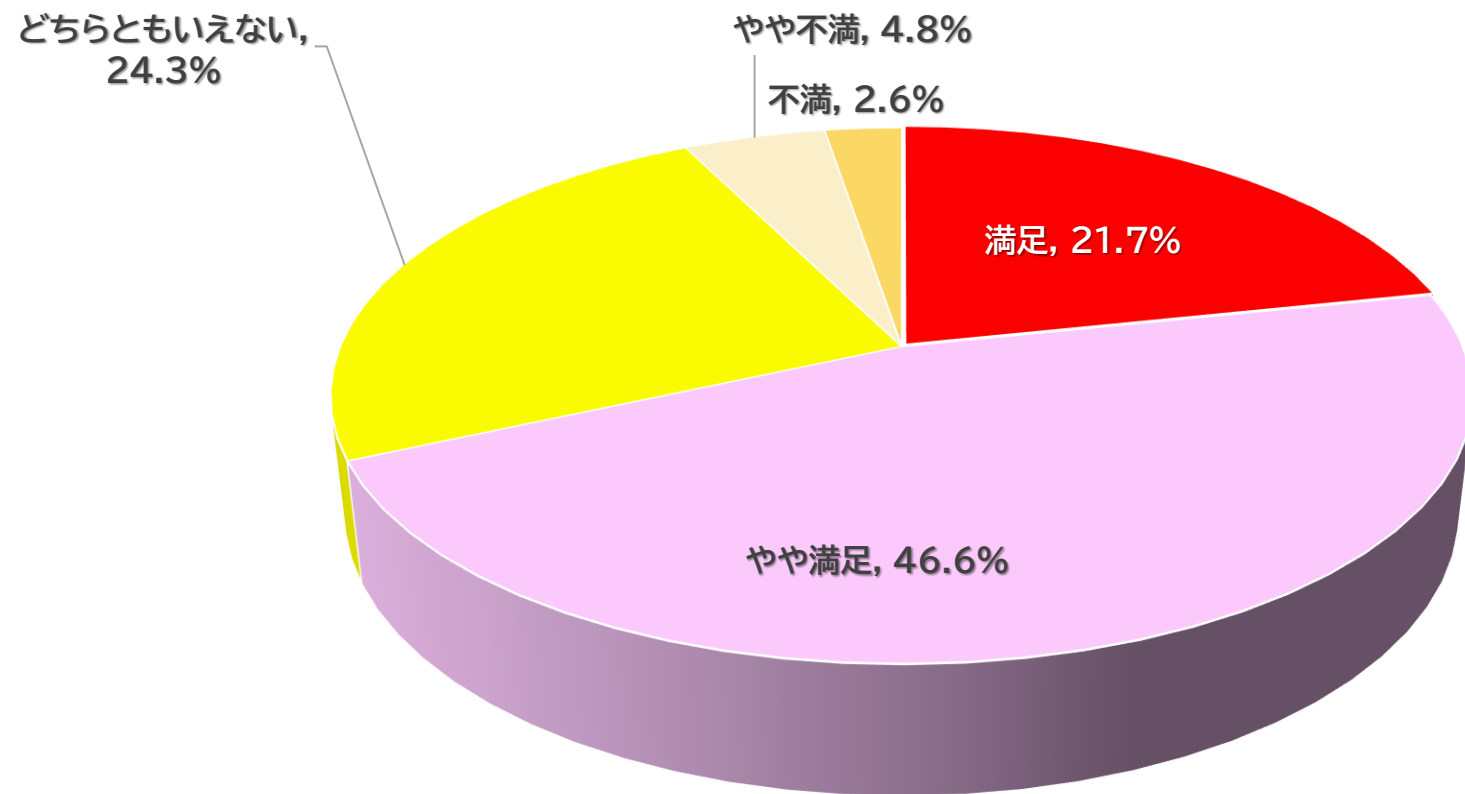


【利用しているデジタルヘルスケアサービスを利用すると決めた理由(複数回答)】



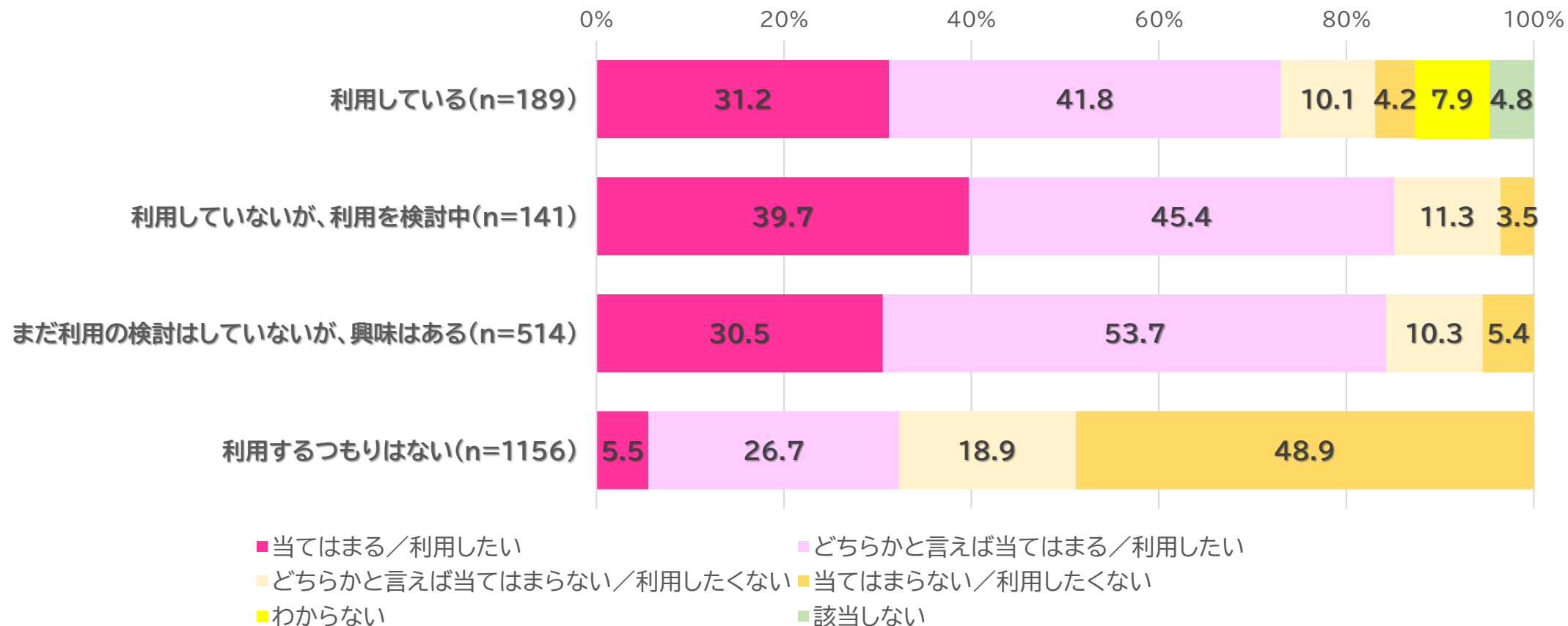
デジタルヘルスサービスユーザ(n=189)

【利用しているデジタルヘルスケアサービスの総合満足度】

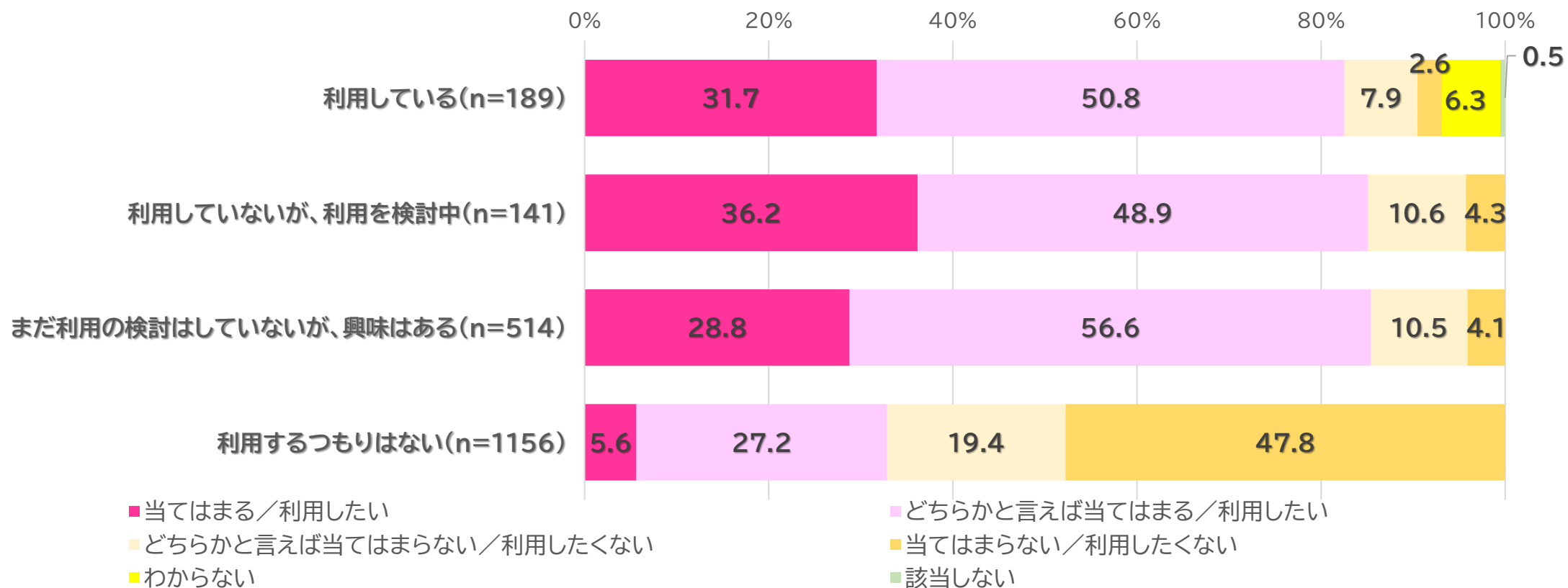


デジタルヘルスサービスユーザ(n=189)

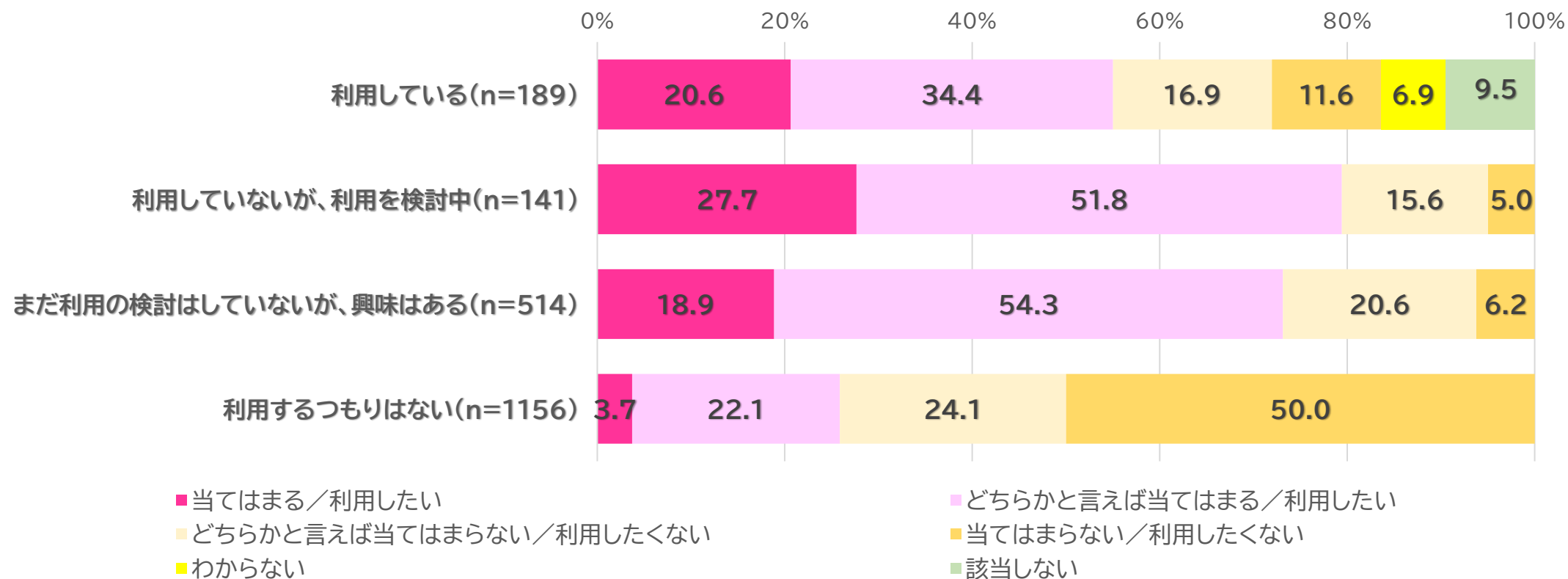
【効果があることがデータで示されている】（デジタルヘルスケアサービス利用状況/意向別）



【健康管理に役立っていると感じる】(デジタルヘルスケアサービス利用状況/意向別)

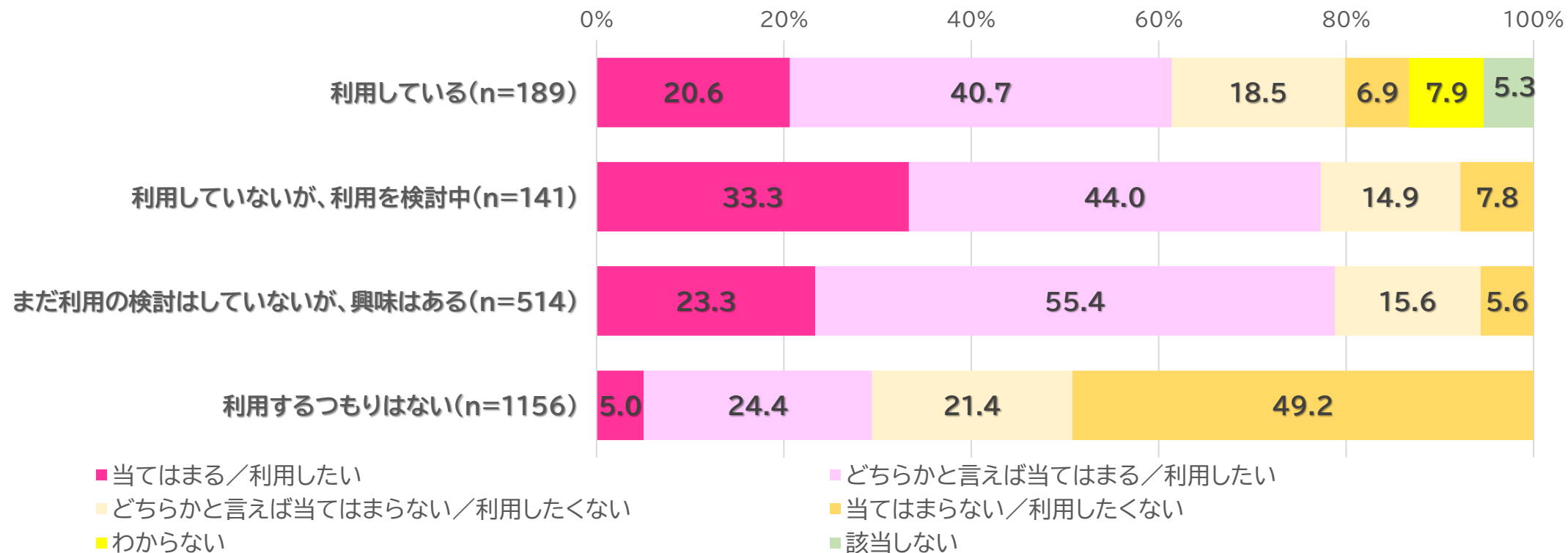


【専門家のアドバイスを受けられる】(デジタルヘルスケアサービス利用状況/意向別)

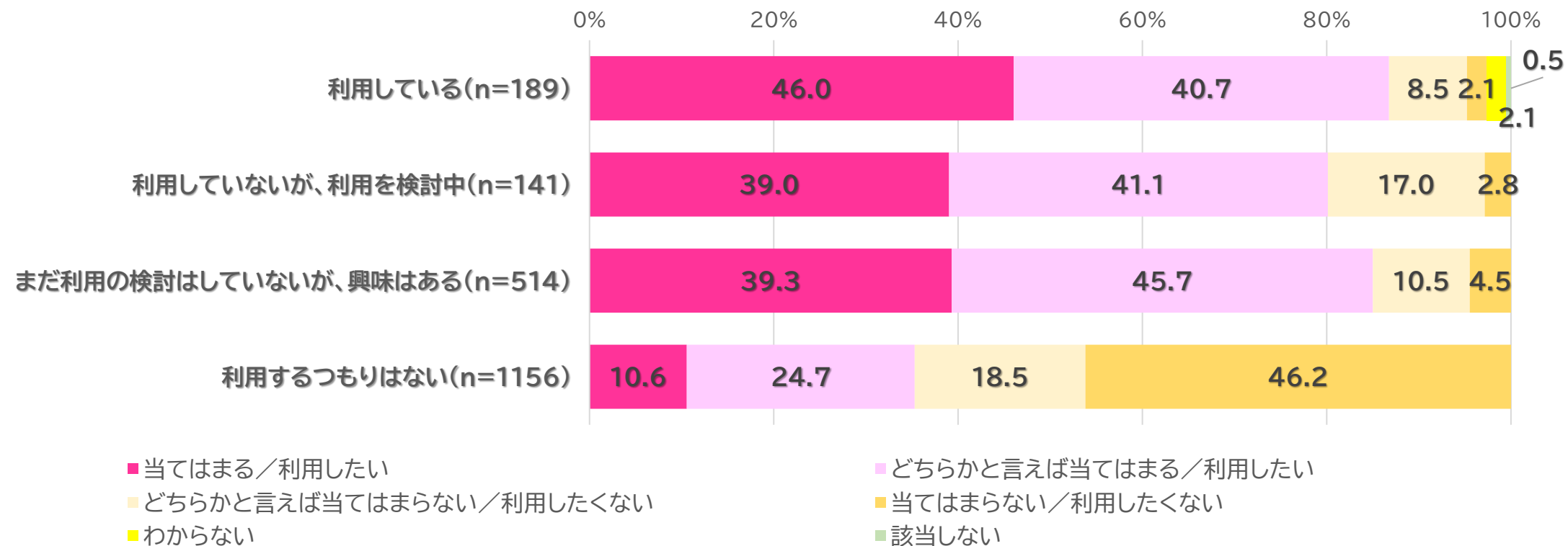


出所:AMED・日経BP 総合研究所「デジタルヘルスケアサービスに関するアンケート」(2025年1月実施)

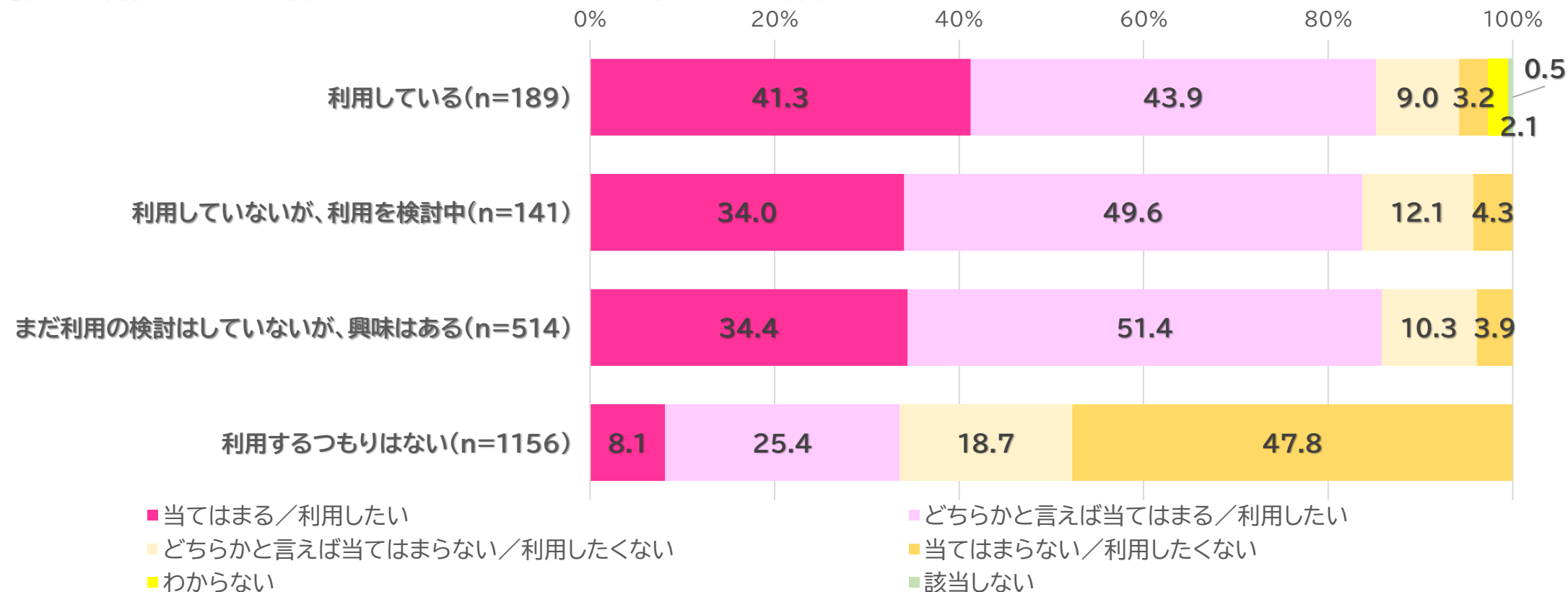
[サポートが充実している] (デジタルヘルスケアサービス利用状況/意向別)



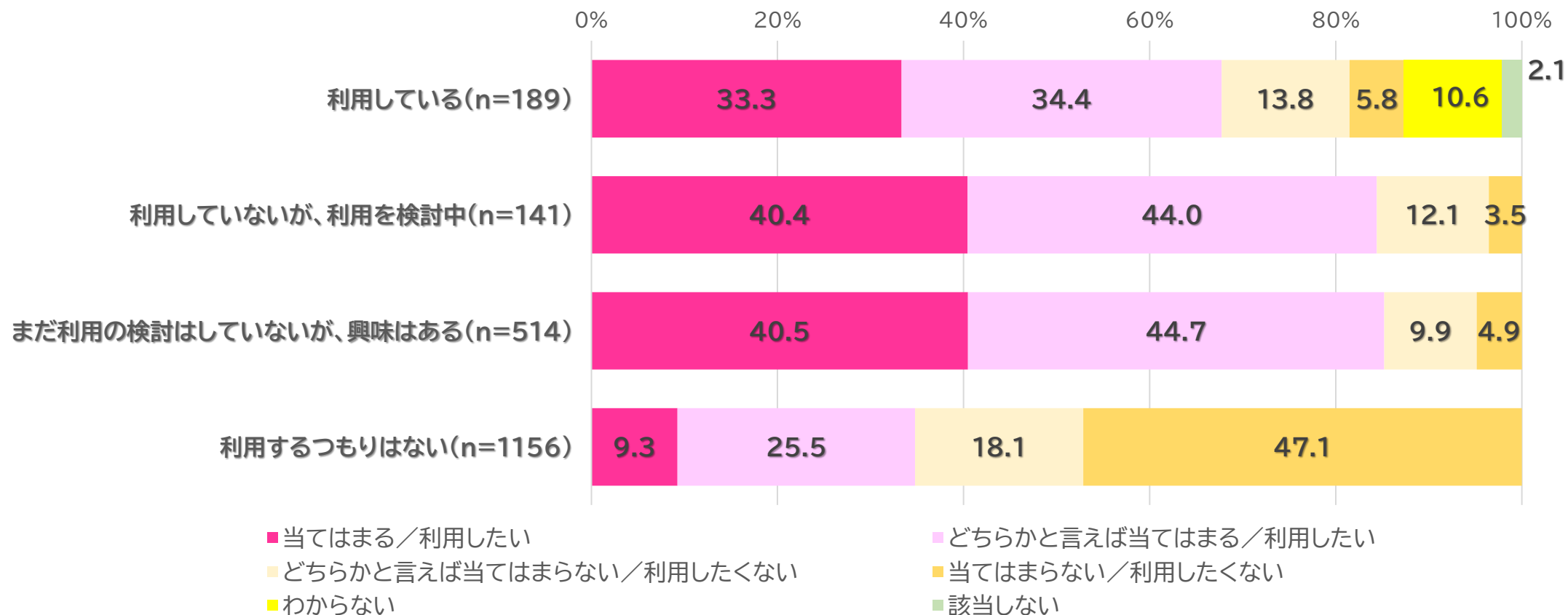
【使い方がわかりやすい／簡単である】（デジタルヘルスケアサービス利用状況/意向別）



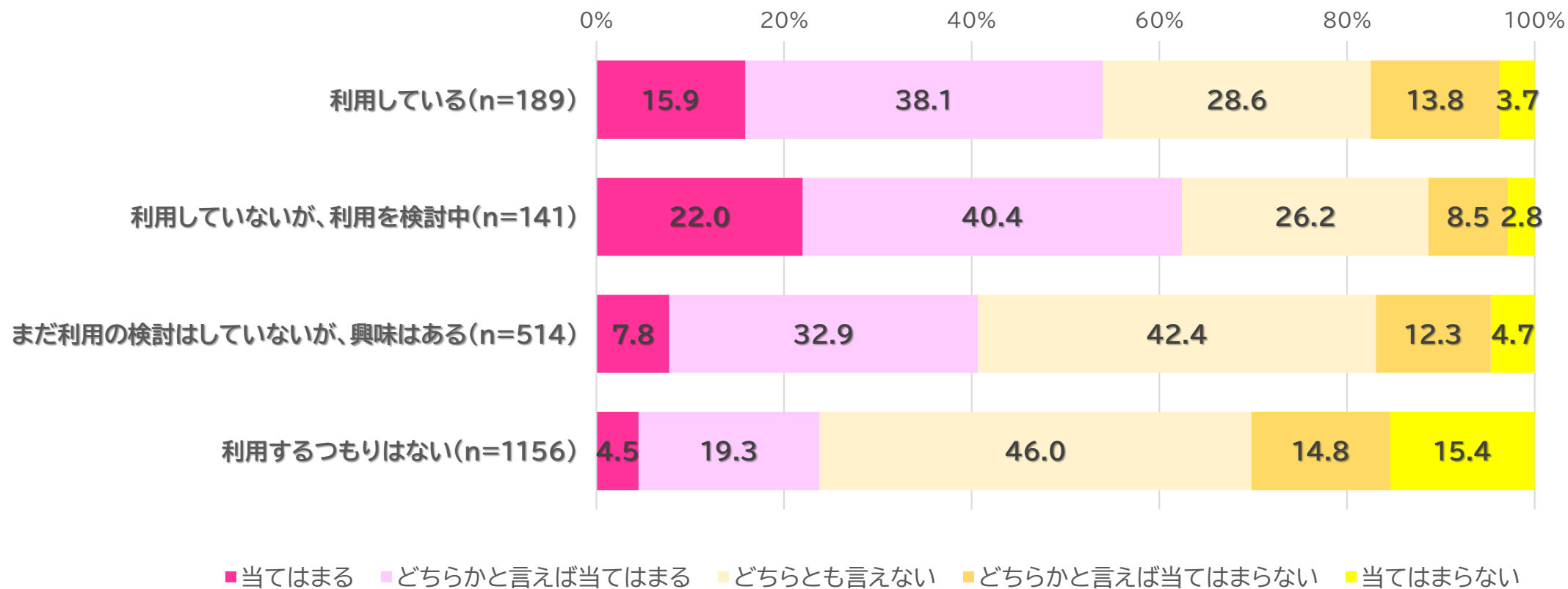
【利用を習慣化しやすい】(デジタルヘルスケアサービス利用状況/意向別)



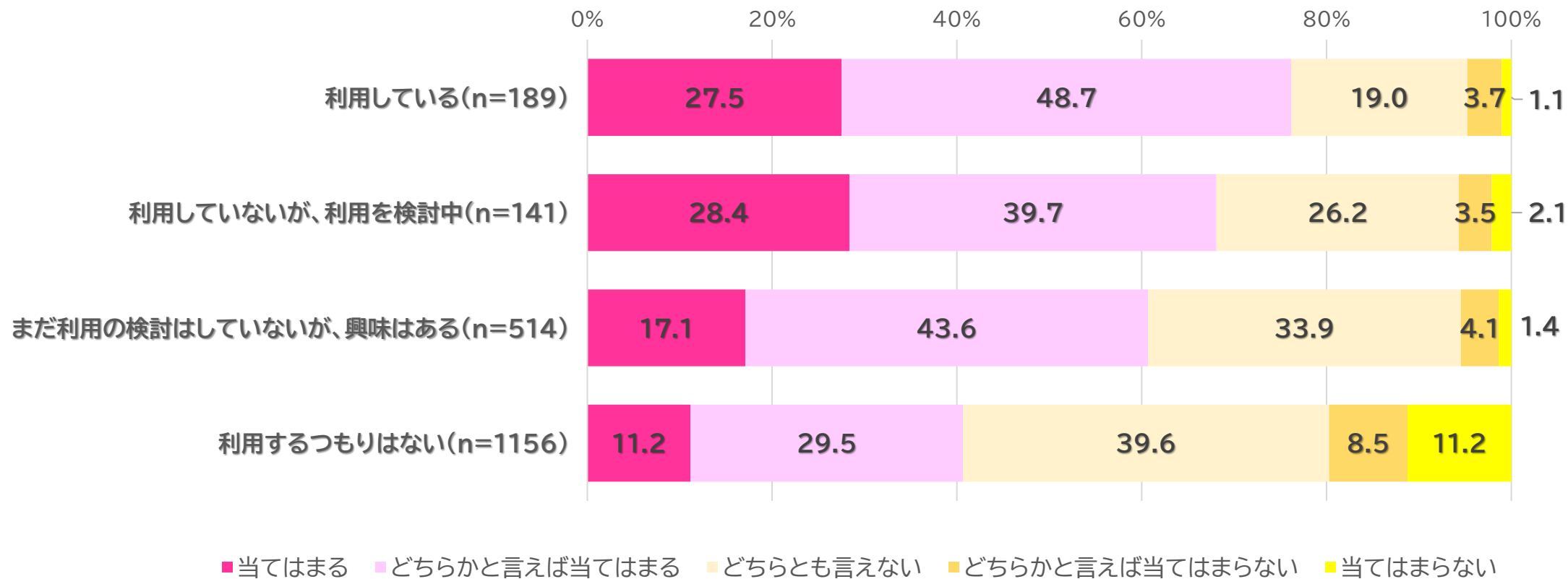
[プライバシーが守られていると感じる] (デジタルヘルスケアサービス利用状況)



【今の日本の医療制度に満足している】(デジタルヘルスケアサービス利用状況)



【世の中の情報をうのみにせず、自分で調べる】(デジタルヘルスケアサービス利用状況)



【新しいものが好きだ】(デジタルヘルスケアサービス利用状況)

